

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
平成 29 年度第九回企画運営委員会議事概要

【日時】 2018 年 3 月 1 日（木）12 時 00 分～12 時 52 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

- **【出席(敬称略)】** 清水(委員長・情)、尾上(情)、藤原(情)、谷田(情)、若宮(情)、松下(情)、原(情)、井上(情)、難波(生)、平岡(生)、細田一(情)、石井(生)、EUM(情)、楊(情)

【出席(遠隔参加)】 細田耕(基)、中村(基)

【事務局】 松岡(情/事務長)、鐘ヶ江(情/大学院係長)、徳野(情/部門事務局長)

谷川(情/部門事務)、岡本(情/部門事務)、井汲(情/部門事務)

嘉村(情/部門事務)、上田(情/部門事務)、森田(生/部門事務)

【欠席(敬称略)】 増澤(情)、村田(情)、柳田(生)、八木健(生)、近藤(生)、大澤(生)、藤田(生)、石黒(基)、宮崎(基)、松岡(サイバー)、中野(生)

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWinnovation)

議題

(1) 教務委員会(清水教授 資料あり)

- コースワーク修了判定について : 1 月の公聴会に臨んだ履修生 15 名及びそれ以外の一期生について、次のとおり詳細な状況の説明があった。
 - ・公聴会終了後に修了に係る要件不足であった 1 名については要件が揃ったため、15 名全員をコースワーク修了としたい。
15 名のうち、12 名が 3 月に研究科修了見込み。(博士学位取得見込み)
1 名は 6 月に研究科修了予定。(6 月に学位記が授与される際にコースワーク修了が併記される。)
 - 2 名は単位取得退学予定。(課程博士修了時に学位記にコースワーク修了が併記される。)
 - ・上記 15 名以外の一期生 6 名(情報 2、生命 3、基礎工 1)は次のとおり。
4 名が留年(プログラム履修継続)、2 名は単位取得退学(プログラム履修停止)を予定している。
上記 6 名以外に 1 名(情報)が 9 月に早期修了。
- ➔ 15 名について本プログラムのコースワーク修了が承認された。

(2) リーディング大学院選抜委員会（資料なし）

- 2月28日まで募集した六期生の選抜に、情報8、生命7、基礎工5(うち1が特別選抜)の計20名の応募があった旨の報告があった。
- 3月2日書類審査、3月12日面接審査実施予定。

(3) 海外連携委員会（資料あり）

- 現時点での海外派遣状況について：昨年度にくらべ件数が伸びていないため、条件を多少緩和して海外渡航を促す呼びかけを実施した結果、最終的に今年度は39名が実施となる。また、海外インターンシップは9名実施となった旨報告があった。
- 3/11-15 シドニー大学への団体研修を実施することとなった旨報告があった。履修生5名、引率教員1名にてシドニー大学への訪問を主とした研修を実施予定。

(4) 産学官連携委員会（資料あり）

- インターンシップ実施状況について、及びイノベーション実践演習(講義)についての状況報告があった。来年度の実践演習については現在10名が履修予定。次回の本委員会においてインターシップの報告書のホームページへの掲載の仕方について協議したい旨の発言があった。

(5) 広報企画委員会（若宮教授 資料なし）

- 学生のこれまでの活動や成長の様子等、プログラムをわかりやすく伝えるビデオを作成中で3月に完成予定。
このビデオを使って、企業とのマッチングイベントを行いたい旨の発言があった。

(6) その他

① 事後評価について(清水教授 資料あり)

日本学術振興会が2月19日に開催した博士課程リーディングプログラム委員会に本学からは第三部門が参加した。

その際の報告を受けて、本プログラムでは何らかの形で7期生の募集を考えているので、今後議論させていただきたい旨の発言があった。

また、まもなく卓越大学院の公募要領が発表されるが、今回は応募をせずにまず事後評価に注力したとの発言が併せてあった。

② 英語教育について（オム特任准教授 資料あり）

1-2月に全7回のTOEICクラスの開講を行い、終了後にTOEIC-IPテストを実施。

3月にテクニカルライティングワークショップを実施計画中(6名参加予定)。

③ コースワーク修了証の授与式について（清水教授 資料なし）

3月14日（水）18:00 から C棟 4階 C401 において、コースワーク修了証の授与式を計画しており、お時間の許す関係教員の皆様にもご出席いただき、祝ってあげていただきとの発言があった。

次回：3月15日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C棟 4階 C401